

社会科

中学校の社会科

- (1) 地理・歴史・公民の3つの分野で構成されている。
- (2) 1, 2年生で地理と歴史、3年生で歴史の近現代と公民を学習する。
- (3) 地理は「世界の地理」と「日本の地理」、公民は「政治・経済・国際社会」を学習する。

1 社会科の学習で身につけたい力

(1) 社会的な事象を理解する力

例えば、野菜の価格があがっている。それは、どうやら原油価格の高騰が関係している。そこから、高知県や宮崎県では野菜の促成栽培がなぜ行なわれているのか。促成栽培とはどのような栽培方法なのかを理解する。1つの知識についてそのように考えて理解していくことができれば、ふだん何気なく食べている野菜からも地理的な問題について考えていくことができる。

(2) 社会的な事象を関連づけたり比較して考え、表現する力

地理であれば統計資料から、どのような変化が見られるのか。(過去からの変化を含む) また、この変化の裏側にはどのような事情が隠されているのかなどを考えて判断することができる。また、歴史であれば写真資料などから、公民であれば、写真資料や文章資料、統計資料などから考え判断をすることができる。ただ単に覚えるだけでなく、覚えたことをもとにして各種資料からいろいろなことを考え判断できる力を身に付けていってほしい。

(3) 社会的な課題について解決していこうとする力

地理・歴史・公民の各分野において学習していく過程において疑問に思ったことやもっと深く詳しく知りたいと思ったことに出会った場合には、どのような方法で調べていけばその課題を解決していくことができるか。そのことをより積極的に行動に移していくことが大切になる。

2 授業への取り組みと家庭学習（宿題・予習・復習などの仕方など）

(1) 予習

授業には教科書の内容（基本的な知識、用語など）を確認してから授業に臨むようにする。授業中は『説明を聴く』『作業をする』『話し合い活動をする』『ノートをとる』等の活動があるが、教科書にある「基本的知識」をある程度見ておくことで、授業の中で理解を深める。また、読めない漢字などを事前の予習で確認しておくことなどが重要である。

(2) 宿題

かならずやって授業に臨む。わからなかったり、あいまいなことは授業で確認する。

(3) 復習

授業終了後にとったばかりのノートや、授業プリント等をすべて読み返し、不明瞭な点を重点的に復習する。まとめノートを作り、配布されたワークブックなども予習・復習に十分活用する。

3 教科の評価

評価をするための材料としては、提出物(プリント・ワークブック・レポートなど)、単元テスト、中間テスト、期末テスト、授業中の活動の様子などである。さまざまな観点に応じたさまざまな材料を用意して評価を出す。中間テストや期末テストの結果が良くても、それ以外の評価が低ければ、テスト通りの結果にはならない。

